



2023年2月8日

各位

会社名 帝人株式会社  
 代表者名 代表取締役社長執行役員 内川 哲茂  
 (コード番号 3401 東証プライム)  
 問合せ先 広報・IR部長 吉富 友也  
 (TEL 03-3506-4395)

## 業績予想の修正及び特別損失(連結・個別)の計上に関するお知らせ

直近の業績動向を踏まえ、2022年11月7日に公表しました2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

また2023年3月期第3四半期にて、下記の通り連結決算及び個別決算において特別損失を計上しましたので併せてお知らせいたします。

### 1. 2023年3月期連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,050,000	25,000	29,000	16,000	83.23
今回発表予想 (B)	1,030,000	10,000	12,000	△18,000	△93.63
増減額 (B-A)	△20,000	△15,000	△17,000	△34,000	—
増減率 (%)	△1.9%	△60.0%	△58.6%	—	—
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	926,054	44,208	49,692	23,158	120.58

### 業績予想修正の理由

マテリアルセグメントにおける欧州拠点での工場火災による生産量低下に伴う販売量減少、中国のロックダウン後の経済停滞に伴う需要減の影響等により、売上高を上記の通り前回発表予想から下方修正することといたしました。また、売上高修正の要因に加え、マテリアルセグメントにおける米国拠点での設備故障復旧後の立上げ遅延による生産性改善遅れ等も影響し、営業利益、経常利益につきましても上記の通り前回発表予想から下方修正することといたしました。さらに、営業利益の減少に加え、Teijin Automotive Technologies (米) (TAT-US社) に関するのれんに係る減損損失を計上した影響等により、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても上記の通り前回発表予想から下方修正することといたしました。

なお、2023年3月期の期末配当予想につきましては、2022年11月7日に公表しました1株当たり12.5円(中間配当27.5円、年間配当予想40円)から変更ありません。

### 2. 特別損失(連結・個別)の計上について

2023年3月期第3四半期において、複合成形材料事業ののれんに係る減損損失(連結)

および関係会社株式評価損（個別）を計上いたしました。

（１） 複合成形材料事業ののれんに係る減損損失（連結）の計上

当社の連結子会社である TAT-US 社は、半導体を含む原材料や部品の不足等による OEM の生産減、原材料価格の高騰、一部工場での設備故障に伴う生産性悪化と追加費用の発生、労働力不足の継続による生産性改善の遅延等により、当初想定していた収益計画に遅れが生じる見込みとなりました。このため、同社の株式取得時に発生したのれんについて減損の兆候が認められ、減損損失の認識要否の判定の結果、2023 年 3 月期第 3 四半期の連結決算において未償却残高全額について減損処理を実施し、減損損失 154 億円を特別損失として計上しました。

（２） 関係会社株式評価損（個別）の計上

TAT-US 社の業績悪化および TAT-US 社に関するのれんの減損等を要因として、当社の連結子会社であり TAT-US 社の株式を保有する Teijin Holdings USA, Inc. の財政状態の悪化が見込まれるため、2023 年 3 月期第 3 四半期の当社の個別決算において、関係会社株式評価損 1,122 億円を特別損失として計上しました。

なお、当該関係会社株式評価損は連結決算では消去されるため、連結損益への影響はありません。

以 上